

# やすらぎの村便り

## 歩行器について

歩行器は、自力での歩行が困難となつた人の介助用・リハビリ用として使われる、福祉用具の一種です。介護の現場では、加齢や病気によつて足腰が弱くなつた高齢者の福祉用具として利用されます。寝たきり状態とならないためには、高齢者が自分の力で歩くことが大切です。

体の状態に合わせた歩行器の選び方は、大きく分けると次のようにになります。

（入院などで身体状況が低下した際）

- ・サークル型歩行器

（室内で使用するタイプ）

- ・固定型歩行器

- ・交互型歩行器

- ・キヤスター付き歩行器

- ・四輪歩行車

（屋外で使用するタイプ）



足腰を痛めかねません。高さ

調節機能や幅のサイズ調節機能のほか、高身長向けやミニサイズ

- ・折りたたみ型歩行器

- ・四輪歩行車

例えば、脳血管疾患で片麻痺がある方は、歩行器を操作しにくい可能性があります。この場

合は、杖の方が安定し、安全に移動出来るケースもあります。また、利用者の体格や身長に合つたサイズの歩行器を選ぶことで、事故やケガのリスクを減らせます。例えば、身長

が高い人が低い歩行器を使うと必要以上に前傾するため、

富田林営業所長

原田一輝



キタバ薬局グループ  
富田林市向陽台 2-2-15

0721(28)6261(代)